

## 新任医師紹介

平成28年12月1日現在

●新たに6名の医師を迎えました。



早川 博生医師  
産科



長倉 正宗医師  
脳外科



児玉 秀夫医師  
産科



森鼻 栄治医師  
新生児科



小島 泰子医師  
神経科



北村 佳奈医師  
麻酔科

## お知らせ

### 医療連携室

(患者様をご紹介いただく医療機関の皆様へ)

当センターの医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な連携に努め、患者様に専門的な医療を提供しております。

ご利用には「登録医としての登録」と登録医からの「診療申込み」が必要となります。当センターの医療連携室を是非ご利用ください。

TEL.0562-43-0508 FAX.0562-43-0510

URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

受付 火曜日～土曜日

時間 9:00～17:00

祝日、年末年始を除く。土曜日が祝日の場合も受付、ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日を除く。



## 外来診療のご案内

- 外来受付は、A～Dのブロックごとの受け付けになりました。
- 再診の際は、再来機受け付け後、グリーンファイルを各自で取り、診察へお進みください。
- 詳細については、ホームページ等でお確かめください。
- 当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。



予約電話番号 **0562-43-0509** ファクシミリ **0562-43-0510** (9:00～17:00まで)

◆診療時間  
午前9時から午前12時まで / 午後1時から午後4時まで

◆休診日  
日曜日・月曜日・祝日・年末年始  
ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日は休診日。土曜日が祝日の場合は診療日

## あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 大府市森岡町七丁目426番地  
TEL (0562)43-0500 FAX (0562)43-0513  
URL: <http://www.achmc.pref.aichi.jp/index.html>



# アチエメックの風

あいち小児保健医療総合センターだより



第49号

平成29年1月発行

発行  
あいち小児保健医療  
総合センター

## 周産期部門オープン特集号

### 見学会が行われました

平成28年11月3日(木)、あいち小児保健医療総合センター周産期部門オープン見学会を開催しました。当日は、192名の見学者にお越しいただき、盛大な見学会となりました。



産科病棟の紹介



NICU病棟の紹介



## 産科トピックス



産科はハイリスク妊産婦を受け入れる紹介型医療施設として、平成28年11月から診察を開始しました。こども病院に併設された特性を活かして、主におなかの中の赤ちゃんに何らかの病気が疑われた妊婦さんの診療を担当します。生まれる前からNICU及び関連する診療科と協力することで、赤ちゃんに負担の少ない適切な医療を提供することが可能になります。また、不安をかかえた妊婦さんやご家族の気持ちに寄り添い、周産期に関わるスタッフ全員で支えるチーム医療を実現できることも当科の特徴です。

診療の柱は、超音波検査や羊水検査をはじめとする出生前診断と遺伝カウンセリングです。個々の状態に合わせた丁寧な診察を心がけています。特に先天性心疾患の診断には力を入れており、出生前の産科におけるフォローアップから出生後の検査や手術まで一貫した治療を行える、県内でも数少ない施設の一つです。カウンセリングの面では、母体血で検査をする新型出生前診断「NIPT」を来年度から開始する予定で準備を進めているところです。

県民のみならず信頼される施設となるよう、日々努力していきたいと考えています。今後ともよろしくお願いたします。



産科外来入口



外来には最新の超音波検査装置があります

## 新生児科トピックス

～病気を抱えた  
赤ちゃんを救うために～

あいち小児保健医療総合センター新生児科は、平成28年11月に産科とともに周産期部門としてオープンしました。

赤ちゃんは、お母さんのおなかの中で育ち、「生まれる」という大きな仕事をして、この世に生まれてきます。しかし、早く生まれたときや、病気を抱えて生まれてきたときは、周りからの手助けが必要になります。

当センターの新生児科は、こどもの病気に関するエキスパート集団である小児専門病院の長所を活かし、病気を抱えて生まれてきた赤ちゃんの治療を中心にを行います。

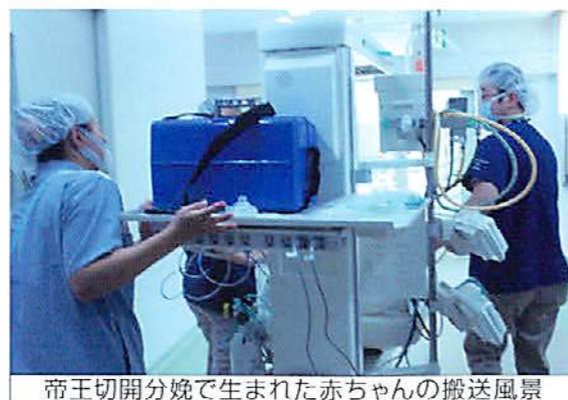
対象となる病気は、先天性心疾患・小児外科疾患・脳神経外科疾患・泌尿器科疾患などで、いずれも手術が必要になることが多い病気です。このような病気を抱えた赤ちゃんは、NICU（新生児集中治療室）に入院して頂き、関連する各科と協力して治療を行います。

また、近年は胎児診断も進歩し、生まれる前から分かる病気も増えてきました。当科では産科と協力して胎児診断を行い、生まれてからの治療を迅速に始める準備を行うとともに、多職種と協力してご家族の不安に寄り添うよう努めます。

新生児科では、赤ちゃんらしさを大切に治療を行い、生まれてすぐに離れ離れになってしまう赤ちゃんとそのご家族のサポートを行うことで、様々な病気を抱えた赤ちゃんがご家族に笑顔で迎えて頂けるように頑張ります。



赤ちゃんの検査・治療に必要な最新機器



帝王切開分娩で生まれた赤ちゃんの搬送風景

## 20病棟



20病棟は産科病棟で、医師2名・助産師10名・看護師8名でチームを構成しています。

当病棟は主に、赤ちゃんに治療が必要となる妊婦さんご家族を対象としています。

お母さんのからだところをサポートするため、多職種と連携して医療に取り組んでいます。特に臨床心理士とは妊娠中から継続しておなかの赤ちゃんご家族への支援体制を整えています。また保健師を交えて早期から地域とのつながりをもてるように支援させていただいています。

私たちは母乳ケアにも力を入れており、当センターで出産された方だけでなく、他院で出産された方、当センターにお子さんが入院されているお母さんのケアも積極的に行っています。

ご家族の大切な赤ちゃんの人権を尊重し、出生前から新生児期、幼児期、その後もお子さんの成長をご家族とともにセンター職員一丸となって見守ってまいります。



20病棟入口



病室の様子



LDR室(陣痛分娩回復室)の様子

## NICU



2016年11月、新生児のためのICU、NICUが産科病棟とともにオープンしました。生まれたばかりの新生児は、母胎内環境から母胎外環境へ適応する時期にあり、他の小児とは異なる特別な配慮が必要となるため、新生児のためのNICUが必要となります。また新生児はご家族と出会い、家族関係を構築する時期にありますが、入院により家族と離れることを余儀なくされるため、ゆったりと面会できる様環境に配慮し、臨床心理士とも連携しながら、家族関係形成のための支援を行っていきたくと思っています。NICU看護師も産前訪問を行い、生まれる前からの支援を産科とともに行っていきます。また、入院当初より退院後の生活を視野に入れ、保健部門や在宅支援室とも連携しながら、指導を行っていきます。新しい病棟の開設ですので課題もありますが、スタッフ一丸となって、「新生児とご家族のために」を合言葉に取り組んでいきたいと思っています。



NICU入口



病棟内の様子

